

福井県JAバンクにおける 地域密着型金融の取組状況（2019年度）

福井県JAバンク（福井県下JAと福井県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、2019～2021年度福井県JAバンク中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

2019年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

福井県JAバンクは、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

福井県JAバンクは、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

令和2年3月末時点の福井県JAバンクの農業関係資金残高^(注1)は8,872百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は3,122百万円を取扱っています。

(注)1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

2 福井県JAバンクが農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

【営農類型別農業資金残高】

(単位：百万円)

	令和2年3月末現在
農業	6,238
穀作	3,075
野菜・園芸	549
果樹・樹園農業	133
工芸作物	0
養豚・肉牛・酪農	94
養鶏・鶏卵	63
養蚕	0
その他農業 ^(注3)	2,321
農業関連団体等 ^(注4)	2,634
合計	8,872

(注)

3 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。

4 「農業関連団体等」には、JAや経済連とその子会社等が含まれています。

【資金種別農業資金残高】

(単位：百万円)

種 類	令和2年3月末現在
プロパー農業資金 (注5)	6,989
農業制度資金 (注6)	1,882
農業近代化資金	1,695
その他制度資金 (注7)	186
合 計	8,872

(注)

- 5 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 6 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金を福井県JAバンクが転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことで福井県JAバンクが低利で融資するものを対象としています。
- 7 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

(単位：百万円)

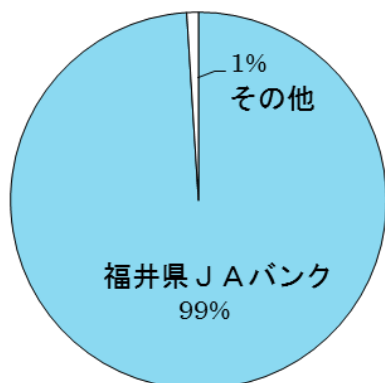
種 類	令和2年3月末現在
日本政策金融公庫資金 (注8)	3,122
そ の 他	0
合 計	3,122

(注)

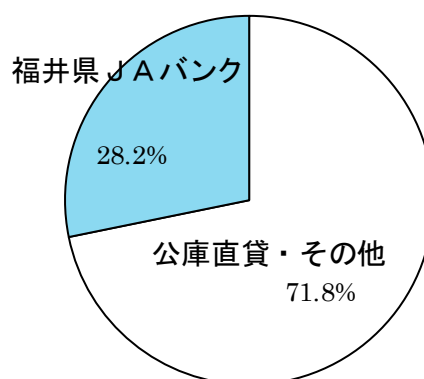
- 8 福井県JAバンクでは、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取扱っています。

福井県JAバンクは主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金(公庫直貸除く)の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

農業近代化資金取扱いシェア
(令和元年12月末時点)
出所：福井県信連調べ



公庫農業資金取扱いシェア
(令和2年3月末時点)
出所：日本政策金融公庫
業務統計年報



(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

福井県 J Aバンクでは、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、2019年度は福井県 J Aバンクにて 13 名配置しています。

J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は令和 2 年 3 月末時点で県内に 48 名誕生しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実に努め、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

信連では、J Aのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化に努めました。

また、福井県 J Aグループでは、J A福井県五連が一体となって、「組合員トータルサポートセンター」を構築し、担い手に対し事業部門を横断した総合的なサポートに取り組ましました。

(3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズに J Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A内事業間連携を強化しています。

具体的取組事例

J A福井県：TAC と連携し支店融資担当者が担い手への同行訪問。

担い手等農業者、農業法人に対して継続的な訪問活動を実施。

経済窓口及び農機センター、GS 窓口等に農業資金パンフレット、ポスターの掲示。

TAC、営農部門、経済部門、信用部門、役員がお互いの情報共有と知識を習得するため 3 か月に一度会議を開催。

J A越前たけふ：農業者（メイン強化先）への継続訪問。

農業経営アドバイザー資格取得の推奨。

※ TAC・・・「地域農業の担い手に向く J A担当者」の愛称を単協・連合会が一体（チーム）となって地域農業をコーディネートするという意味をもつ「Team for Agriculture Coordination」の頭文字をとったもの。

(4) 農業メインバンク CS 調査の実施と結果の活用

J Aバンクでは、J Aの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測（農業メインバンク CS 調査）を行っています。また、得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

福井県 J Aバンクは、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 次世代農業者の育成支援

福井県 J Aバンクでは、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

(単位：件、百万円)

	2019 年度 実行件数	2019 年度 実行金額	令和 2 年 3 月末 残 高
青年等就農資金	22	77	284
就農支援資金	—	—	4
合計	22	77	288

(2) 農商工連携の推進

福井県 J Aバンクは、J Aバンク富山、J Aバンク石川、長野県 J Aバンク、J Aバンク新潟ならびに J F マリンバンクが主催者となり、北信越 4 県の全農および福井県経済連とが連携を図って、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

【2019 年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参 加 団体数	内 容
J A・J F グループ 北信越商談会	令和 2 年 1 月 29 日	北信越 5 県の J Aバンク J F マリンバンク	セラー 35 団体 バイヤー 42 団体	農商工連携を推進するための商談会。販路開拓、農業所得増大のために開催。総商談数は 274 件、うち本県は 40 件。

【J A・J F グループ北信越商談会】



《 商談会風景 》



《 商談会風景 》

(3) 経営不振農家の経営改善支援

福井県 J Aバンクでは、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

【2019 年度 農業者の経営改善支援等の取り組み実績】

(単位：先)

	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
正常先①	3	0		0	0.0%	
要注意先	うち その他要注意先②	1	0	0	0.0%	0.0%
	うち 要管理先③	0	0	0	0.0%	0.0%
破綻懸念先④	2	0	0	2	0.0%	0.0%
実質破綻先⑤	1	1	0	1	100.0%	0.0%
破綻先⑥	0	0	0	0	0.0%	0.0%
小計 (②～⑥の計)	4	1	0	3	25.0%	0.0%
合計	7	1	0	3	14.3%	0.0%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は令和元年 12 月末時点のものです。

(4) 被災者等への支援

福井県 J Aバンクでは、平成 29 年 10 月の台風および平成 30 年 2 月の豪雪により被災された皆様を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等に対応しました。

(単位：件、百万円)

取組事例	J A名	内容	件数	貸付実行金額
農業経営支援資金 利子補給および保証料助成措置	福井県 J Aバンク	農業経営支援資金(災害資金)において、行政と連携した利子補給による無利子化措置ならびに福井県農業信用基金協会保証料の全額助成。	9	19
豪雪災害資金の対応	J A福井県 (福井)	豪雪で農業施設の被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給を受けた低利の資金を対応。	9	33
平成 30 年度大雪による 農業雪害資金の対応	J A福井県 (坂井)	平成 30 年度から引続き大雪で農畜産物の被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給を受けた低利の資金対応を実行。	24	57

3 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

福井県 J Aバンクでは、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 食・農への理解促進

福井県 J Aバンクは、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、2019年度には県下の小学校へ約 8,300 冊配布され、学校の授業等において活用されています。

また、福井県 J Aバンクでは、食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【 J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A 名	活 動 名	活 動 内 容
J A福井県	学校教育田 (福井)	小学生による田植えや稲刈り体験
	寄付金(坂井)	大豆入り麦茶の売り上げの一部を寄付
	寄付(坂井)	坂井市・あわら市へ食と農の学習教育誌の贈呈
	食育活動(坂井)	親子での野菜や果物の苗植えと収穫体験および新米おにぎり作り体験
	子供農業塾(奥越)	J A女性部との連携による、子供を対象とした農業塾を開催
	支店協同活動(奥越)	「地域の元気づくり」をめざす支店を拠点とした協同活動
	地場産学校給食(敦賀美方)	地場野菜への関心をもってもらう為に地場野菜を学校給食へ提供
	田植・稲刈り体験(敦賀美方)	地元の小学校9校に対し、田植えや稲刈り体験を実施
	家庭菜園体験(敦賀美方)	地元の保育園に対し、野菜作り体験を実施
	食育講座 (若狭)	調理実習、食育講演会を開催
J A越前たけふ	親子食農体験	親子を対象とした食農体験
	食の寺子屋	伝承料理の学習
	朝ごはんキャンペーン	管内の小学生を対象におにぎり食べくらべや野菜シチューを提供
	料理教室	季節の地場野菜を使った料理の講習会
	営農講座	家庭菜園のポイントの講習会